

平成30年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

【めざす学校像】

- 校風・校是「自由と創造」「日新日進」のもと、生徒一人ひとりが自分の色を輝かせ、全体で虹の架かる学校
- 将来の「大阪」とグローバル化に対応する人材と「大阪の教育」をリードする教員が育つ学校
- 生徒・保護者・地域住民から信頼される学校

【生徒に育みたい力】

- 強靱な知性・みずみずしい感性・品格ある人間性
- 確かな学力（自己実現のための学力、知的好奇心、探究心 等）
- 生きる力（客観的事象分析・問題解決能力、意見表明・プレゼンテーション能力 等）
- 豊かな心（生命・人権の尊重、規範意識、異文化理解、多文化共生 等）
- 社会参加力（社会参加、社会貢献 等）

2 中期的目標

1 確かな学力を踏まえつつ、高い志を育み、進路実現をめざす取組みの推進

(1) 生徒のもつ学力を最大限に引き出す

ア 魅力ある授業の実施

効果的な補助教材の作成、教員の指導技術の一層の向上に努めるとともに、平成30年度に全教科で到達目標を明確にしたシラバスを完成させ、生徒に対して明確な道標を提供する

また、新学習指導要領や大学入試改革を見据えて、2019年度までに、いわゆる「アクティブ・ラーニング」と大学進学の高津を両立させた「高津授業メソッド」を完成させ、2020年度以降につなげる。

*生徒向け授業アンケートの項目8・9（内容に興味・関心が持てた・知識や技能が身についた）の平均点（H29：3.24／4点満点）を平成30年度以降も3.2以上で維持する

イ 講習・補習の充実

放課後、土曜日、長期休業中等の講習内容と規模を充実させ、進路実現に向けた指導を行う

*難関国立大学（京都大、大阪大、神戸大）への合格者数（現役生＋既卒生／H29：63人）を、2020年度までに80人以上とし、一層の増加に努める

*国公立大学への現役生の合格者数（H29：132人）を、2020年度まで130人以上で維持し続ける

ウ 英語運用能力の向上

英語での授業を基本としつつ、外部試験等を活用し、英語コミュニケーション能力の目標を明確に示すことで、生徒の英語運用能力を総合的に高める

*12月実施予定の第2回GTECスコアレポートにおいて、2020年度までにCEFR B2：20人以上、B1：360人以上をめざす

*実用英語技能検定試験について、平成30年度には2級受験者のうち70%の合格をめざし、2020年度まで継続する

(2) 生徒の科学的素養を拡大・定着させ、探究心を高める

ア 文理学科「課題探究講座」（文系・理系）の内容のさらなる充実と全校生徒での共有

*文理学科2年生の「課題研究」に対する満足度をさらに高めるとともに、課題研究発表会への生徒参加数（H29：約450人）を、2020年度までに700人以上にする

イ 創造探究事業（高大連携）の内容の充実

*文理学科1・2年生の外部連携事業への延べ参加者数（H29：1,717人）を、2020年度まで1,000人以上で維持し続ける

ウ 海外の科学先進校等との交流の推進

海外の科学先進校等との交流日数を増やすとともに、共同研究や共同発表会等を実施するなど、交流内容をさらに充実させる

*交流先の拡大を図るとともに、交流日数（H29年度：12日）について2020年度まで10日以上を維持する

(3) 進路指導をさらに充実させる

ア 自己実現に向けた体験型進路学習（職場訪問、大学研究室訪問）の充実

1年生は、望ましい職業観・勤労観を育成することを目標に、訪問時のインタビューの精度を高めるとともに、プレゼンテーションの質的向上を図る

2年生は、大学における学問・研究に対する理解促進を目標に、生徒同士が学んだ内容について実施するポスターセッションの質的向上を図る

*1・2年生とも訪問先（H29：1年生63カ所、2年生52カ所）を、2020年度まで各50カ所以上、生徒満足度（H29：95%）を90%以上で維持する

イ 3年間を見据えたキャリア教育の充実

学校として確立した進路指導方針（高津進路プログラム：KSP）に基づき、学年の進路指導ホームルームや進路説明会をより系統的に計画・実施する

*学校教育自己診断の進路指導への満足度（H29：生徒83%・保護者80%）を、2020年度までにともに80%以上で維持する

2 スクールアイデンティティに基づく、豊かな心の育みと規律・規範の確立

(1) 人権尊重と生徒の社会体験活動の促進

*学校教育自己診断の、人権に関する指導に対する肯定率（H29：生徒85%・保護者83%）を、2020年度までに、ともに85%以上に引きあげる

*部活動参加生徒による「高津キャラバン隊」の実施クラブ率（H29：100%）を、2020年度まで90%以上で維持し続ける

(2) 規律・規範意識の向上

*年間の遅刻者総数（H29：2,472件）を、2019年度までに2,000件以下とし、維持する

(3) 生徒の自主的活動の活性化（部活動、生徒自治会活動）

*部活動加入率（H29：86%）を、2020年度まで85%以上で維持し、一層の増加に努める

*生徒向け学校教育自己診断の自治会活動に対する肯定率（H29：66%）を、2020年度までに70%以上に引きあげる

(4) きめ細やかな保健指導と教育相談体制の充実

*生徒向け学校教育自己診断の保健室利用、教育相談に対する満足度（「わからない」を除く／H29：83%）を、2020年度まで80%以上で維持し、一層の向上に努める

3 教職員の資質向上と学校運営体制の確立

(1) 教科指導力の向上

*生徒向け授業アンケートの全項目平均値（H29：3.24／4点満点）を、2020年度まで3.2以上で維持し続ける

(2) 研修の充実

*教員向け学校教育自己診断の校内研修に関する肯定率（H29：85%）を、2020年度まで80%以上で維持し続ける

(3) ミドルリーダーの育成と経験の少ない教員のさらなる資質向上

*教員向け学校教育自己診断のミドルリーダー育成に関する肯定率（H29：77%）を、2020年度まで75%以上で維持し続ける

(4) 学校の組織的運営

*教員向け学校教育自己診断の各分掌や学年・教科等の円滑な連携等に対する肯定的意見（H29：54%）を、2020年度までに65%以上とする

(5) ICT活用ならびに実験・実習、体験的な教科指導の充実、校務の効率化及び情報共有

*生徒向け学校教育自己診断の主體的・対話的で深い学びに対する満足度（H29：93%）を、2020年度まで90%以上で維持し続ける

(6) 地域に開かれた学校づくりの推進

*生徒による社会体験・貢献活動（ボランティア講座、支援学校との交流、部活動参加生徒によるキャラバン隊 等）をさらに活性化させる

(7) 社会全体の「働き方改革」の流れを踏まえた、(校内)安全衛生委員会機能のさらなる向上

*教職員向け学校教育自己診断の「教育活動に関する悩みや疑問の気軽な相談」についての肯定率（H29：85％）を、2020年度まで80％以上で維持する

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔平成30年12月実施分〕	学校運営協議会からの意見
<p>○経年変化を確認する観点から、今年度も、肯定率80％以上（○）ならびに60％未満（×）の主な項目と認識、今後の課題を記します。</p> <p>【学習指導等】</p> <p>■生徒【80％以上】</p> <p>○「授業には、ICT機器が積極的に取り入れられている」90％</p> <p>■保護者【80％以上】</p> <p>○「学習に対する評価は適切で納得できる」83％</p> <p>■教職員【80％以上】</p> <p>○「授業では主体的・対話的で深い学び等、さらなる向上をめざしている」80％</p> <p>○「授業において生徒自身が自分の考えを発表したりまとめる機会が多い」98％ *今年度も、ほとんどの項目で高い評価をいただきました。とりわけ、いわゆる「主体的・対話的で深い学び」については、生徒・教職員ともに肯定的な回答がますます増えています。引き続き、さらなる授業力の向上、より適切なカリキュラムの構築に努めます。</p> <p>【進路指導等】</p> <p>■生徒【80％以上】</p> <p>○「将来の生き方や進路を考える機会が数多く提供されている」80％</p> <p>○「教職員は生徒の進路実現に積極的に取り組んでいる」83％</p> <p>■保護者【80％以上】</p> <p>○「将来の生き方や進路を考える機会が数多く提供されている」81％</p> <p>■教職員【80％以上】</p> <p>○「将来の生き方や進路を考える機会を数多く提供している」100％ *進路指導についても、すべての項目で、継続的に高い評価をいただきました。生徒の希望進路実現に向けて、さらに戦略的・効率的な支援に努めます。</p> <p>【生徒指導等】</p> <p>■生徒【80％以上】</p> <p>○「人権を大切にす心や社会のルールを守る態度を育てようとしている」82％</p> <p>○「本校の教職員は人権を尊重しており、体罰やセクハラはない」80％</p> <p>■保護者【80％以上】</p> <p>○「学校の生徒指導方針に共感できる」82％</p> <p>○「人権を大切にす心や社会のルールを守る態度を育てようとしている」82％</p> <p>■教職員【80％以上】</p> <p>○「本校の生徒指導方針は適切で、すべての教職員に共有されている」83％</p> <p>○「本校の部活動は活発で、活動時間・内容は適切である」80％</p> <p>○「本校の自治会活動は活発で、活動時間・内容は適切である」95％ *生徒指導等についても、昨年度とほぼ同じように高い評価をいただきました。引き続き、高津らしい生徒指導を進めていきたいと考えています。</p> <p>【学校運営等】</p> <p>■生徒【80％以上】</p> <p>○「SSH、GLHSとして設定されている活動は充実している」87％</p> <p>○「教職員は教育活動に熱心に取り組んでいる」84％</p> <p>■保護者【80％以上】</p> <p>○「SSH、GLHSとして設定されている活動は充実している」90％</p> <p>○「教職員は教育活動に熱心に取り組んでいる」86％</p> <p>○「学校は教育情報について保護者に提供の努力をしている」87％</p> <p>■教職員【80％以上】</p> <p>○「本校の教育活動は、学校経営計画等に基づき、適切に行われている」95％</p> <p>○「生徒のより効果的な学校生活に向け、柔軟かつ迅速に取り組んでいる」85％</p> <p>○「保護者と緊密に連携し、信頼感が醸成されている」85％</p> <p>○「本校の教育活動を積極的にアピールできている」98％ *今年度も、学校運営全般に関して、共感を伴う高い評価をいただきました。教職員の取組み等をしっかりと見守っていただいていることや、相互の信頼感が再確認でき、本当に嬉しい限りです。より一層の向上に努めます。</p> <p>【その他】</p> <p>■生徒【80％以上】【60％未満】</p> <p>○「高津高校に入学してよかった」84％</p> <p>×「教室・廊下・トイレ等の環境は、学習の場にふさわしい」39％</p> <p>■保護者【80％以上】【60％未満】</p> <p>○「高津高校に入学させてよかった」89％</p> <p>○「本校の授業参観や学校行事に参加したことがある」87％</p> <p>×「本校ははじめについて真剣な対応を期待できる」54％（わからないが40％）</p> <p>×「教室・廊下・トイレ等の環境は、学習の場にふさわしい」55％</p> <p>■教職員【80％以上】【60％未満】</p> <p>○「生徒の個人情報適切に守られている」83％</p> <p>○「各分掌や学年・教科が連携し、組織的に機能の向上に取り組んでいる」80％</p> <p>○「経験の少ない教員や次世代リーダーを計画的に育成している」80％</p> <p>○「教職員に教育活動に関する学習機会が適切に提供されている」90％</p> <p>○「教育活動の悩みや疑問について、互いに気軽に相談できる職場である」85％</p> <p>○「いじめが起こった際の体制が整っており、迅速に対応できる」83％ *今年度も、生徒・保護者ともに「高津高校に入学して（させて）よかった」という回答が安定して高水準でした。一方で、トイレ等の環境面は、引き続き低</p>	<p>第1回（7／20）</p> <p>【73期体験型進路学習について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・73期生の職場訪問について、10社ほど紹介したが、各社とも生徒からの質問がすごく、よく調べてきていると好評だった。 ・福祉面の勉強をよくしてきていて、職員以上であると聞いた。質問力を持っているのだと思う。 <p>【生徒の安全管理について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年の夏は異常気象（高温）であるが、病院との連携など、熱中症対策について取り組んでいただきたい。 <p>【働き方改革】について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何か具体的に策があるか。時間外労働が月80時間を超えると産業医面接を行っているとのことだが、一般では40時間が規定である。40～80時間の場合もケアが必要ではないか。 ・「働き方改革」とITは連動している。仕事を減らすよりはIT化を考えたらどうか。 ・まずは、ムダなところをピックアップするところから始めたらどうか。 ・興味や経験のない部活動の顧問をすることが負担だという意見も出てきている。クラブは学校にとって大切だ。クラブが多く、部員数が多いことは一つの実績だ。しかし、それが負担にもなる。教員にも私生活がある。 ・スイスの小学校では午前の担任と午後の担任が違ったりする。日本では考えられないことだ。学校だけではなく、社会・保護者も含めて考え方を変えていかないと難しい。連携が必要だ。 <p>第2回（1／17）</p> <p>【災害時の備蓄について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄を始めるとのことだが、私立では、生徒達に私費で災害時用のパックを購入させているが、それには数日分の食料や、防寒具なども含まれている。卒業時まで学校が保管して卒業時に返却すればいいのだから、公立でもそのようにできないか。 <p>【自治会活動に関する生徒の意識について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒は自治会員という認識を持っているか。自分が自治会員であるという意識を生徒自身がもっと強く持つ必要があると考える。 ・自治会執行部にアンケート結果を分析させてみるのもいいのではないか。質問の問い方次第でもアンケートの評価の数値は変わるものである。 <p>【教員の労働時間について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が担うべき仕事と、そうでない仕事を分けるべきである。 ・外部人材を活用しないと教員の負担は減らないと思う。スクールカウンセラーや外部の部活動指導員などの活用をさらに考えないといけない。 <p>第3回（3／22）</p> <p>【大学入試結果（会議当日現在）について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の報告は、途中経過ということなので、引き続き結果を見守りたい。難関大学を京大・阪大・神大としているが、それ以外にも目標とすべき大学があるのでは。 ⇒大阪府教育庁がGLHS校に対して、京大・阪大・神大と医学部医学科の合格者数を成果指標として挙げている。また、文科省が定めるスーパーグローバル大学および科学技術振興機構（JST）が定めるグローバルサイエンスキャンパスの進学者数も指標としている。これらの大学も目標としていけばよいと考える。 <p>【学校教育自己診断の結果について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回答結果は概ね肯定的だが、例年同様、トイレ等施設については低い肯定率となっている。学校だけで解決できる問題ではなく、また財政面の問題もあるが、引き続き、粘り強く府としての対応を求め続けてもらいたい。 ⇒4F男子トイレは和式から様式に改装した。女子トイレ1系統の改装については、昨年の地震によるブロック塀対策が優先されたため、先送りとなっている。 <p>【働き方改革について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残業は減っているか。働き方改革を進めることで、教職員にとってもよい職場環境となり、教育の効果も上がると考える。 ⇒ノー残業デー「金曜日は19時までに退勤」は、定着している。また、時間外勤務も、少しずつ減少している。 <p>【平成31年度学校経営計画（案）について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大筋として大きな修正はないものと捉えた。この間の取組みが一定の成果を収めていることもあり、これまでの方向性を継続し、さらなる進化・深化に努めていただきたい。平成31年度の学校運営方針（「学校経営計画」の“1めざす学校像”と“2中期的目標”）について、承認する。 ・英語運用能力の向上については、英語に堪能な卒業生なども活用すればよいと思う。

い評価となりました。できる限りの工夫等を行うとともに、望ましい学習環境の維持に努めます。また、保護者のいじめ対応の期待面では、「わからない」という回答が40%を占め、肯定率が54%となりました。いじめを許さない等の人権尊重の教育については、これからも推進してまいります。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力をふまえて、高い志をはぐくみ、進路実現をめざす取組み	<p>(1)生徒のもつ学力を最大限引き出す ア. 魅力ある授業の実施(「高津授業メソッド」づくり(STAGE 2))</p> <p>イ. 英語運用能力(四技能)の向上</p> <p>(2)海外の科学先進校等との交流促進 ア. 交流対象校の拡大と交流日数・内容の充実</p> <p>(3)進路指導をさらに充実させる ア. 体験型進路学習の一層の充実</p>	<p>(1) ア・新学習指導要領や大学入試改革を見据えて、平成29年度に立ちあげた、「主体的・対話的で深い学び」の推進と大学進学実績の両立を可能とする「高津授業メソッド」の確立をめざし、担当部署を中心に具体的な取組みを推進する。(発展)</p> <p>イ・1・2年生を対象に、GTEC、実用英語技能検定試験等の受験を促進する。(新規・充実)</p> <p>(2) ア・交流対象校を増やす(マレーシアを予定)とともに、より継続的かつ双方向的な交流へと充実を図る。(充実)</p> <p>(3) ア・総合的な学習の時間を活用し、7月と10月に実施する体験型進路学習を通して、進路に対する意欲を高める。(継続・発展) 1年生「職場訪問」 2年生「大学研究室訪問」</p>	<p>(1) ア・教員向け学校教育自己診断の「高津授業メソッドの推進状況」に関する項目の肯定率(H29:93%)を90%以上で維持する。</p> <p>イ・12月実施予定の第2回GTECスコアレポートにおいて、CEFR B2:20人以上、B1:360人以上をめざす。また、実用英語技能検定試験2級受験者のうち70%以上の合格をめざす。</p> <p>(2) ア・交流先の増加(マレーシアを予定)、参加生徒の満足度90%以上とする。</p> <p>(3) ア・生徒向け学校教育自己診断での体験型進路学習に対する満足度(H29:95%)を90%以上で維持する。</p>	<p>(1) ア・評価指標とした「高津授業メソッド」の進捗状況についての肯定率は86%。新学習指導要領や大学入試改革を見据えて、さらに深化させていきたい。(△)</p> <p>イ・1・2年生を対象に、年2回GTECを実施した。評価指標とした12月実施の第2回GTECスコアレポートにおいて、CEFR B2:0人、B1:66人(受験者490人)であった。GTEC実施のため、実用英語技能検定試験については自由参加とした。引き続き、英語4技能の向上に努める。(△)</p> <p>(2) ア・台南女子高級中学と交流協定を結び、交流先は増加した。台湾サイエンスツアーの参加生徒の満足度も100%であった。(◎)</p> <p>(3) ア・評価指標とした「体験型進路学習の満足度」は95%と、今年も設定目標を上回った。内容面のさらなる充実に努める。(◎)</p>
2 豊かな心をはぐくみ、規律・規範の確立	<p>(2) 規律・規範意識の向上 ア. 基本的生活習慣の定着</p> <p>(3) 生徒の自主活動の活性化 ア. 生徒自治会活動のさらなる活性化</p> <p>(4) ア. 保健室利用、教育相談体制の充実</p>	<p>(2) ア. 教員間で生徒指導方針を共有し、挨拶の励行と遅刻者数の減少に取り組む(継続)</p> <p>(3) ア・昨年度分割実施に踏み切った記念祭(文化祭・体育祭の一括実施)に関して、引き続き、教職員と生徒が一体となって実施体制及び運営体制を整理し、新たな伝統創生をさらに進めることで、本校ならではの自治会活動のさらなる活性化を図る。(継続・充実)</p> <p>(4) ア・支援や配慮を要する生徒対象に、スクールカウンセラーによる助言等の機会を通して、生徒及び保護者の悩みの解消に努める。(継続・発展)</p>	<p>(2) ア. 遅刻者数(H29:2,472件)を2,000件以下にする。</p> <p>(3) ア・行事後の生徒の満足度(文化祭・体育祭の平均H29:97%)を95%以上で維持する。 ・生徒向け学校教育自己診断の自治会活動に対する肯定率(H29:66%)を70%以上にする。</p> <p>(4) ア・生徒向け学校教育自己診断の保健室利用、教育相談に対する満足度(H29:83%)、保護者の学校への相談に対する満足度(H29:83%)を、ともに80%以上で維持する。</p>	<p>(2) ア・遅刻者数は、2,041件とほぼ目標を達成した。次年度も、引き続き重点項目として取り組みたい。(○)</p> <p>(3) ア・記念祭後の生徒満足度は97%と、引き続き目標を達成した。今後もさらに活気あふれる行事としたい。(○) ・「自治会活動に対する肯定率」は、64%と評価指標には届かなかった。生徒自治会の更なる活性化を図っていきたい。(△)</p> <p>(4) ア・評価指標とした「保健室利用、教育相談に対する満足度」ならびに「学校への相談に対する満足度」は、ともに84%と目標を達成できた。(○)</p>

府立高津高等学校

<p>3 教職員の資質の向上と学校運営体制の確立</p>	<p>(1)教科指導力の向上 ア.教科指導力の向上</p> <p>(3)ミドルリーダーの育成、経験の少ない教員の資質向上</p> <p>(7)安全衛生委員会の機能向上</p>	<p>(1) ア・教員間の授業交流の促進、研究授業・協議を一層活性化させ、さらなる授業力向上に努める。(継続・充実) ・生徒による授業評価(年2回)や授業公開等を実施し、その結果を教員・教科にフィードバックし、授業改善に生かす。(継続)</p> <p>(3) ア・より効果的・効率的な業務遂行が可能となる、本校らしいヒエラルキーを構築し、計画的なミドルリーダー育成に努める。(継続・充実)</p> <p>(7) ア・「働き方改革」の流れを念頭に、校内規約に基づき、教職員の安全及び健康の確保、ならびに快適な職場環境の形成の促進に努める。(継続・充実)</p>	<p>(1) ア・生徒授業アンケート1～9全質問の平均値(H29:3.24)を3.2以上で維持し、さらなる向上に努める。</p> <p>(3) ア・教員向け学校教育自己診断における、ミドルリーダーの育成等に関する肯定率(H29:77%)を75%以上で維持する。</p> <p>(7) ア・教職員向け学校教育自己診断における「教育活動に関する悩みや疑問の気軽な相談」に対する肯定率(H29:85%)を80%以上で維持する。</p>	<p>(1) ア・生徒授業アンケート結果は3.26と評価指標を達成できた。「主体的・対話的で深い学び」の構築に、引き続き、努めていく。(◎)</p> <p>(3) ア・評価指標とした「ミドルリーダーの育成」については、82%と目標を達成できた。引き続き、次代を担う教員の育成に努める。(◎)</p> <p>(7) ア・評価指標とした「気軽な相談」については、87%と目標を大きく上回ることができた。さらに教職員の負担感の軽減に努める。(◎)</p>
----------------------------------	---	---	--	--